

お金持ちになった後のことを、考えてみてください

一般に、富を増やすことは安心と幸福をもたらす。そう考えられています。
しかし、大手資産運用会社 PNC アドバイザーが行った
アメリカの富裕層 に対する「調査」によると、必ずしもそうとは言い切れないようです。

この調査の前提条件・・・回答者の 60%の人が、
なんと資産 100 万ドル（約 1 億 1 千万円）以上を所有しています。

（アンケート結果 によりますと）

- お金を増やして以前より幸せになったとする回答者は 46%
- 29% は、お金は問題を解決するより、「問題を生んだ」と答えています。
- 33% の人は、十分なお金があるかどうか常に不安に思っている。

また投資資産が 1000 万ドル ある人の 19% は、
「リタイア後に希望通りの生活が送れるかどうか」お金の心配をしている。
（冗談ではありません・・・）

- 子どもが「特権」意識を持って育つことを懸念している人は 49%
 - 子どもを甘やかせていると感じている人は 44%
- （以上、Journal Of Financial planning の記事から引用しています）

お金持ちの人ほど、実は臆病なのかもしれませんね。
持っていない人間にとって、持っている者の「悩み」は理解しがたいものですが、
上記の調査結果 を見ていると、「いくらお金を持っているのか」という
金額が問題なのではなく、「お金がもっと必要なのでは・・・」
という 強迫観念 に囚われ、思い悩むことが 問題 なのでしょう。

⇒（まさに）お金 にコントロールされている状態 です。

あるいはこの お金 を、
「どうやって維持していこう、どうやって守っていこう??」
という焦り、不安、つまり、
お金を保有していること自体を「重荷」に感じてしまうつらさがあるのかもしれません。

かと思えば一方、こんな人たちもいます。

すばらしいビジネスアイデアを温め、事業を興し、
太い幹のような不屈の精神でその事業を拡大させ、

ひとつの会社を社会の公器（上場）にまで
仕立て上げてしまう人たち・・・。

これら事業家の人たちは、自ら産み育てた会社の価値（株式）を
保有することでその資産が50億円になったり
100億円になったりしています。
（31歳の人もいれば、44歳の人もあります・・・）

皆さん、ちょっと考えてみてください。

（わたしは今年41歳ですが）

例えば50億円というお金を、70歳になるまでの
29年間に使い切るためには相当な努力を要します（笑）

（年間1億7000万円強をコンスタントに使い続ける必要あり・・・）
ある種の才能が↑必要？

つまり50億円の資産がある事業家は、

● もう、働く必要なんてないわけです、ホントは。

好きなことをしても、
使いきれないくらいのお金があるわけです。

でも、このような事業家の人たちにとって、
50億、100億という「数字上の資産」は
あまり意味を成さないようです。

（自分が経済的に成功したあとも）

かえって事業意欲を増進させていたりします。

（これは事業家の間では顕著な傾向です・・・）

「いったい何のために働くのですか？」

という質問に対して

「お金のためです」とはおそらく答えないでしょう（笑）

今 お話しました 事業家 にとって、
お金 とは 自分の仕事 を評価してくれるひとつの「媒体」であり、
自分の事業をより深く行うための【道具】なのです。

すでに、プライベートの自分 と
お金 という「緊張関係」から解放され、
ある意味、彼/彼女 にとっては、お金 は
「社会的な財」になっているのです・・・。

（なんともすごい状態です。彼/彼女 が、すでに
手元から離れた状態 にある「お金」を
穏やかな表情 でただ見つめている、というイメージです・・・）

⇒ お金 とフィフティーフィフティーで
対峙している ということ・・・。

皆さんもぜひ、
お金持ちになった後のことを、考えてみてください。

「何をしたいのか？」
「いったい自分には何が出来るのか？」

お金 に負われることなく、
お金 に振り回されることなく、

果たして 自分 は「お金」を
静かに見据え続けるだけの
エネルギーを持てるだろうか、と。

お金 はシビアにあなたを見ています。
お金 をうまく動かし、還流させて
その 効用 を最大にできる人のところに、
お金 は集まります・・・。

晋陽FPオフィスでは お金の殖やし方
(資産運用の方法論) については今後も
さまざまな情報を発信していきますが、

一方、お金を殖やした後のお金の利用のしかた、
自身 が お金 と対峙するための【方法】については、
あなた自身が考え、努力する必要があります。

じっくり考えてください。
時間は十分にありますので・・・。

それに、考えること自体に
お金 はかかりません・・・(笑)